





## 事業効果の定量的分析 (費用便益分析)

(便益の内容)

- 走行時間短縮便益、走行費用減少便益、  
交通事故減少便益  $B = 505.11$ 億円

(費用の内容)

- 事業費、維持管理費  $C = 212.90$ 億円

費用便益比  $B / C = 2.30$

\*算出根拠:費用便益分析マニュアル(国土交通省 平成15年8月)

9

## 今後の予定

一般国道170号(大阪外環状線)から和泉市大野町に至る第1工区(L=1.55 km)のうち L=1.42 kmの供用に引き続き、第1橋梁手前の現道 国道480号までの L=0.53 kmについて、平成18年度部分供用を目指す。

さらに第2トンネル以南についても、平成20年度着工を目指す。

関連事業である和歌山県側の一般国道480号整備事業については、平成16年度和歌山県公共事業再評価委員会においても継続事業として承認済み。

10